

1.11 若狭街道熊川宿・藤樹書院の見学

(1) 研究の概要

平成23年度地歴・公民科 SSH 講座の名称で、1・2年生希望者対象に若狭街道熊川宿・藤樹書院の見学会を実施した。

(2) 研究開発の経緯

三年前は第1次産業で SSH 講座を実施した。一昨年度は第2次産業で見学場所を選定した。昨年度は再び第1次産業で実施した。今年度は趣を変えて歴史的な内容度の強い見学地を策定した。

(3) 仮説（ねらい、目標）

見学テーマ 「江戸の風情を愉しむ」

サブテーマ ア 重要伝統的建造物群保存地区の現状と課題

イ 日本陽明学発祥の地・藤樹書院の見学

ウ 滋賀県高島市の町おこし・メタセコイヤ並木の見学



施設見学 熊川宿・熊川番所前



施設見学 熊川宿・旧逸見勘兵衛住宅前

見学を通じて、自然に親しみ、その土地の歴史を学び、世界に対する視野を広げる一助になれば良い。

(4) 研究の方法および内容

ア 対象生徒 1・2年生の希望者 21名 本校教員 3名

イ 実施日程 平成23年10月16日（日）に実施

ウ 実施場所 若狭街道・熊川宿 福井県三方上中郡若狭町熊川
藤樹書院 滋賀県高島市安曇川町上小川225番地の1

エ 実施内容

(ア) 熊川宿の施設見学

(イ) 藤樹書院の説明と施設見学

(ウ) 陽明園・中江藤樹記念館・藤樹神社・良知館の見学

(エ) 百瀬川扇状地の天井川・高島市メタセコイヤ並木の見学

(オ) 帰路バスにて、アンケート記入

(5) 検証（成果と反省）

ア 事後のアンケートの結果 回答 ①良い②やや良い③普通④やや悪い⑤悪い

(ア) 日時・日程について ① 48% ② 38% ③ 9% ④ 0% ⑤ 5%

(イ) 熊川宿の見学について ① 38% ② 43% ③ 19% ④ 0% ⑤ 0%

(ウ) ボランティアガイド中村さんの説明について

① 33% ② 48% ③ 5% ④ 14% ⑤ 0%

(エ) 藤樹書院の見学について ① 38% ② 44% ③ 9% ④ 9% ⑤ 0%

イ 生徒の感想から

(7) 熊川宿について

- ・熊川宿の昔の繁栄ぶりだけでなく、今の過疎化による問題など、地元の人にしか知られないことなど聞けて良かった。
- ・江戸時代の町並みは古めかしくて良いが、やはり過疎化で街が全体に寂れていて残念だった。
- ・宿場町がどうであるかという歴史的な知識を得ただけでなく、人口の過疎化について考えることができて良かった。
- ・江戸時代の文化に関する事柄に加え、農具や人物、戦国時代にこの場所で起こったことなど、この場所にまつわることは詳しく教えていただいたので日本史への興味が深まった。
- ・若狭街道について、江戸時代では大変にぎわっていたが、昭和に入り産業が廃れていくにつれて人口が減り、文化財の指定を受けた後でも留守宅が増えていることが、非常にショックだった。

(イ) 藤樹書院について

- ・有名な藤樹書院を実際に見られて良かった。日本史・倫理で中江藤樹が出てくるのが楽しみだ。
- ・中江藤樹のことはこの講座に参加するまでに知らなかったが、興味が持てた。
- ・藤樹書院周辺の用水路の水が澄んでいた。とても心落ち着く場所に私塾があった。集中してお話を聞くことができた。
- ・講座参加の前に中江藤樹について詳しく調べてこなかったのが、学堂長のお話を完全に理解できなかった。次回参加できる時には下調べが必要だと思った。

ウ 今後の実施に向けて

(7) 日時・日程について

本校の土曜講座の実施されない休日を見学日として設定した往復4時間。移動に時間がかかって、見学がゆっくりできなかった。しかし、普段経験できない現場見学という目標は達成できたと思う。

(イ) 見学のテーマ・内容について

生徒にとって理解しやすい内容であった。ガイドの方の懇切丁寧な説明をいただき熊川宿の概要をおおむね理解できたと思う。藤樹書院では中江藤樹の思想の一端に触れることができたと思う。

普段個人では見学できない場所に行けるのがSSH講座の醍醐味・おもしろさである。今年度は観光の要素が少し強かった。来年度は学術的にインパクトのある見学先を考えたい。

(ウ) 全体として

昨年度の反省を受けて、参加者に対して往路のバス内で20分程の講義を実施し、講座参加の動機付けを実施した。来年度も実施して行きたい。



藤樹書院建物内 学堂長松本先生のお話